

伊深 まちづくり協議会 だより

第 17 号

2014 (H26) 年 7 月 1 日発行

伊深まち協 HP アドレス : <http://ibukamachi.com>



・活き活き伊深人 (野地原 平田 由夫さん) ..	1
・各活動グループの動き	2
・地域のトピックス	3
・協議会の動き	4
・名所・旧跡 ①岩山の絶景 (牛牧)	4

巻頭インタビュー

活き活き 伊深人

地域内で活き活きと活躍されている伊深人を紹介します

第 8 回

平田 由夫さん
よしお

野地原/大正 12 年
生まれ/91 歳



Q 平田さんといえば、文化祭でのマジック、似顔絵の印象が強いのですが、若いころからやられていたんですか？

いえいえ、どれも 70 を過ぎてから始めたものです。戦争や仕事に追われて、やっと自分の時間が持てるようになり、それからは、マジック、似顔絵、洋楽器などのほか、80 を過ぎてから三味線も始めました。

Q 戦争はどちらへ？

志願して海軍へ行きました。神奈川県の大磯での訓練後、工作艦「明石」への配属命令を受け、トラック諸島へ向かったんですが、到着と同時に米軍の大攻撃を受け、下船することもなく引き返してきました。その後は終戦まで呉にいました。私は運よく生きて帰って来られましたが、伊深でも栄養失調で亡くなったり、大けがをされたりと戦争はやはり悲惨なものです。戦争を経験したのものとして、若者を戦場へ送ることはもうたくさんです。その意味で昨今の政治情勢には大いに危険なものを感じますね。

Q 終戦後はどんな仕事を？

10 年ほどは、豚や乳牛を飼ったりしていましたが、その後「はざ」用の縄を機械でなう仕事を始めたところけっこう需要があって、コンバインが普及するまでやりました。縄が売れなくなったところに息子が独立する

ことになり、一緒に「スポット溶接」の仕事を始めました。最初は鳥かごを作ることから始まり、電気部品、自動車部品など引退するまで 20 年くらい作りましたね。

Q その後は自分の好きなことを？

そうです。似顔絵とマジックは通信教育で、ハーモニカ・アコーディオンは独学で、三味線は師匠についてといった違いはありますが、まあ、好きで続けられたってことでしょうね。

Q 90 歳を過ぎてもお元気ですが、病気などは？

おかげさまで、外科的には「腱鞘炎」などに悩まされていますが、内科的な病気には縁がないですね。『腹八分』に気をつけていて、今は一日二食です。日によっては一食のこともあります。タバコは 40 代のときに辞め、酒は今でも飲みますが大酒はしないようにしています。

『病は口から入り、災いは口から出る』を自らに言い聞かせています。



▲一見して誰かわかるほど手慣れた「似顔絵」

(※7 月 5 日ころまち協 HP にも掲載します。)

■各活動グループ の動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。

(代表者の敬称略)

伊深の里の標柱づくりグループ

代表：福田美津枝

先に設置した標柱をめぐるウォーキングを6月14日（土）に実施しました。

伊深内外から30の方が参加され、本郷、天王、牛牧、野地原のお寺、神社、用水施設、ため池、風景など12か所の名所・旧跡を見て回りました。途中何か所かは大判の写真を使った説明も行い、地元に住んでいても知らない「いわれ」を聞いて感心する方もおられました。今回巡った約5.5kmの東周りコースは全体の半分にあたり、秋にも北・西方面を巡る第2回目を計画したいと考えています。



小学校稲作体験支援グループ

代表：篠田 洋

6月5日（木）、伊深小5年生の子どもたち、保護者のお母さん方、まち協委員、地域の皆さん方で田植えの体験授業を行いました。今年の5年生は5人と少人数でしたが、直しの必要がないほど上手に植えてくれました。途中でほくぶ保育園の声援も加わり、最後に「バンザイ」をして終わりました。今年は水のこと、手入れの手間のことから田んぼ1枚だけになりましたが、秋の収穫まで管理し、稲刈り、餅つきに備えます。草刈りなどで応援いただける方はご連絡ください。



保育園畑作体験支援グループ

代表：大矢 伸司

今年度は約200株を移植し、昨年の残り合わせ、約300株のいちごが順調に育ちました。このため5月上旬から6月上旬までのおよそひと月間、ほぼ毎日～1日おきに収穫することができ、伊深小だけでなくときどき三和小へもおすそ分けすることができました。

また、収穫後の「片づけ」まで子どもたちに体験してもらったため、いちごを何度も食べられただけでなく、片づけをとおして「畑作」のことをもう少し広く知ることができたのではないかと思います。



環境美化グループ

代表：井上美恵子

今年も短大下の花壇整備を毎月第1日曜に行います。そのための花苗をメンバーが手分けし、数百株育てました。数に余裕があったため、ご希望のあった自治会などにお分けしました。メンバーが育てた花で伊深のあちこちの花壇を飾っていただければありがたいことです。



6月6日（金）、ほくぶ保育園で第2回「ふれあい広場」が行われました

「地域とのふれあい」を方針に掲げる『ほくぶ保育園』で、第2回「ふれあい広場」が行われ、今回は「わらべうた」遊びで園児と地域のおばあさん・おじいさんたちがふれあいました。年少さん・未満児の組は「あめあめふれふれ」「かえるの歌」などで1対1でふれあい、年中さん（こあら組）、年長さん（きりん組）は「かごめかごめ」などで楽しく遊びました。



6月15日（日）、市消防操法大会総合の部で第6分団が優勝！

地元の第6分団はポンプ車操法の部で1位、小型ポンプ操法の部で2位となり、総合の部でみごと優勝を果たしました。

個人賞でも第6分団が10人中最多の4人を占め、各団員の頑張りが報われる成績となりました。

8月3日（日）に白川村で行われる県大会へは小型ポンプ操法の部で優勝した第3分団（山之上）が出場します。



団員の皆さん、お疲れさまでした。

[第6分団個人賞のみなさん]

小型ポンプ操法の部

指揮者 大矢 雅英君（伊深）
1番員 天池 拓人君（三和）

ポンプ車操法の部

3番員 小林 雅典君（伊深）
4番員 西城 敏幸君（伊深）

6月21日（土）、地域向けのオヤニラミ生育調査が行われました

域内の河川に侵入した「オヤニラミ」のことをもっと知ってもらおうと、市環境課主催の生育調査・駆除が行われ、小学生や保護者ら約20人が参加しました。指導に当たった岐大の向井准教授は「何度か駆除しているがあまり減っていない。在来種の稚魚が少なく、オヤニラミの稚魚が多いのは心配。今のうちに封じ込め、駆除しないと他の川にも広がっていく恐れがある」と警鐘を鳴らされました。



今年度の地籍調査は小学校周辺などで実施されます

今年度で3年目となる地籍調査は東から「西田（一部）」「天王」「下町」「下浦」「井尻」「十王前」「寺洞」「円照」「南岡」「東田」「野黒」の11字で行われることになり、7月11日・13日に地権者説明会が行われます。関係する自治会としては上本郷、下本郷、上切、大洞の四つとなります。また、H24年度に現地確認が行われた「新谷」「薬師谷」は作成された地籍図・地籍簿（案）を地権者の方に確認してもらって「土地閲覧」が行われます。地権者の皆さまには8月18日（月）から9月6日（土）までの間に伊深交流Cまで出向いていただくこととなります。

6月定例会のあらまし

6月の定例会では下記のことを協議・検討しました。

■ 報告

各団体・委員からそれぞれ報告等がありました。主なことは次のとおり。

◇**環境美化** 今年花の種の配布を受け、メンバーが手分けして花苗を作った。余裕があるので他の地区・花壇で活用してほしい。

◇**伊深小 PTA** 5, 6年生が「あいさつうさぎ」をデザインした「飛び出し注意」の看板を作った。設置場所を検討中なので、希望があれば連絡してほしい。

◇**伊深視聴覚** 6.10 の子ども映画会には 36 人が来てくれた。7.15、7.28 にも行うので来てほしい。

◇**交通安全等** 下町の狭い生活道路にカーナビの関係か大きな車が入ってきて危ないことがある。注意喚起の看板を検討する。

◇**生涯学習等** 夏祭りの盆踊りに参加する人が少ない。子どもたち向けの事前練習を 8.12 に

行うので、関係者も参加し、盛り上げてはどうか。

◇**社協** 敬老会の運営について今年から参加者の意見を聞き、反映させることになった。

◇**会長** 加茂野のまち協は「楽しんで参加できるイベント」が多いと聞いた。伊深でも計画してみたい。

■ 協議事項

○H26 年度まち協要望事項について

昨年度要望した「コミュニティ施設の建設」「小学校区の見直し」について、今年度の要望として肉付けすることを確認した。



伊深の名所・旧跡 紹介シリーズ

第1回 岩山の絶景・幻の滝 (牛牧)



伊深の外から訪れる人で、この風景が好き、という人が多いのが、高木山うらの岩山の景色です。ほぼ直角に近い角度でそそり立つ絶壁が数百mにわたって続く景色は山水画にも例えられるほど貴重なものです。そして年に数えるほど、大雨のあとだけに見られるのが『幻の滝』です。高木山側に5～6本、牛牧側に3本見られるそうです。

◀「幻の滝」のひとつ。

位置 (牛牧)



標柱：あり

